

栃木県宇都宮市双葉町方言における 身体感覺を表すオノマトペ

大橋勝男

はじめに

1. 調査対象地 栃木県の中央に位置する。宇都宮市の南部。東武線の江曽島駅下車 1キロ。勤め人の寄り合い地。
2. 調査年月日 平成3年11月1日
3. 話者 大橋友四郎 明治45年3月22日 満80歳
4. 調査者・調査場所 大橋勝男・同左宅応接室
5. 調査方法 『方言資料叢刊』第2巻調査票に基づく面接質問調査

注. 1. 回答事象が複数にわたるときは、回答順に記す。
2. () 中の事象は、求める直接の該当語とは認め難いが、関連的に取りあげているものである。

I 全身の感覺

1-1. 快不快

さっぱり サッパリ, セーセー

○汗をかいたが、風呂に入って～した。

1-2. 寒さ

がたがた ガタガタ

○寒くて寒くて～震える。

ぶるぶる ブルブル

○寒くて寒くて～震える。

ぞくぞく ゾクゾク

○風邪でもひいたのかな。～する。

すうすう ヒヤヒヤ<主。>, スースー

○風邪をひいたみたいだ。背中が～する。

1-3. 熱さ

ほかほか セーセー, スッキリ<以上2語、精神的気分を言っているものと思われる。>, (ホテッテキタ, ホトッテキタ<ともに動詞。>)

○酒を飲んだら身体が暖まって～してきた。

かっか ホカホカ, ポカポカ<より強。>

○卵酒を飲んだら身体が～してきた。

II 皮膚の感覺

ひりひり ヒリヒリ, ピリピリ<より強。>

○海水浴で日焼けして背中が～する。

べたべた ベタベタ, ビタビタ, (ビッヂヨリ<汗で濡れている様子。>)

○今日は熱い。汗で背中が～する。

むずむず ムズムズ

○背中に何か入って～する。

もぞもぞ モゾモゾ

○背中に何か入って～する。

かさかさ カサカサ

○空気が乾燥していて、肌が～する。

がさがさ ガサガサ

○空気が乾燥していて、肌が～する。

すべすべ ナメナメ<滑らかな感じ。>, スベスベ

○温泉に浸かって肌が～する。

つるつる ツルツル<滑り光る感じ。>

○温泉に浸かって肌が～する。

ずきずき ズキズキ, ズッキンズッキン<より強。>

○切り傷が～痛い。

ズキンズキン, ズッキンズッキン<より強。>

○ころんで強く打ったところが～する。

ひりひり ヒリヒリ, ズキズキ<強。>, ズッキンズッキン<更に強。>

○擦り傷が～痛い。

ヒリヒリ, ピリピリ<より強。>

○やけどしたところが～する。

ずきんずきん ズッキンズッキン, (ゾクゾク<悪寒。>)

○できものが腫れてきた。～する。

ぼとぼと ズッキンズッキン

○できものが腫んできた。～する。

* ズキズキ<痛み。>

○しもやけがひどくなつて～する。

III 頭部の感覚

3-1. 頭

がんがん ズッキンズッキン

○熱があつて頭の奥が～する。

くらくら グラグラ, (メガマワル)

○熱で頭が～する。

すきすき ズッキンズッキン, (オモイ, サエナイ<ともに形容詞。>, メガマワル<動詞。>)

○二日酔いで頭が～する。

3-2. 顔面

かっか ピクピク<痙攣し。>, カッカ

○恥ずかしくて顔が～する。

ほっと (アカラム, アオザメル, <顔を>アカスル)

○恥ずかしくて顔が～する。

3-3. 目

ちかちか パチパチ, (コソッパクナル)

○テレビを見すぎて、目が～する。

しょぼしょぼ ショボショボ

○煙くて目が～する。

ごろごろ ゴロゴロ<ごみの触る感じ。>, チクチク, チックンチックン

○目にゴミが入つて、～する。

3-4. 耳

きーん ガンガン, キンキン, グラグラ

○ああうるさい。耳がまだ～する。

じーん ジーン

○ああうるさい。耳がまだ～とする。

じくじく ジクジク, ジトジト<湿っぽい感じ。>

○耳の中が腫れて汗が出ているようだ。～する。

3-5. 鼻

むずむず ピクピク<痙攣。>, ムズムズ, モグモグ, (ムセッタイ)

○くしゃみが出そうで、鼻が～する。

ぐじゅぐじゅ モグモグ, ムズムズ, ビシャビシャ<濡れた感じ。>, ジクジク

○風邪をひいたようだ。鼻が～する。

つーん ツーン, (ホーーーくする), アセカク

○わさびを入れすぎて、鼻が～とする。

3-6. 口

(口全体)

ねちゃねちゃ ヌルヌル, ニヤニヤ, (コソバユイ)

○納豆は嫌いだ。口が～する。

* 該当語なし。

○梅干しを丸ごと食べると、口が～する。

* (スカットシナイ)。

○あんまり甘いものを食べたから、口が～する。

(歯)

がちがち ガタガタ

○寒かった。歯が～鳴っている。

かちかち ガチガチ

○寒かった。歯が～鳴っている。

すきすき キリキリ, フーラー

○虫歯がひどくなって、歯が～する。

ちくちく ズキンズキン<間を置きながら痛む。>, ズキズキ<絶え間なく痛む。>.)

○虫歯がひどくなって、歯が～する。

(舌)

ひりひり ヒリヒリ

○辛いカレーを食べたら舌が～する。

びりびり ピリピリ<刺すような。>

○辛いカレーを食べたら舌が～する。

3-7. 喉

からから カラカラ, カランカララン<より強。>

○水をくれ。喉が～だ。

いがいが ケーケー, カーカー, (カラッポク<ナッタ>, エゴッタク<ナッタ>
イガラッポイ, クシャミガデソーダ)

○あくの抜けていない筈を食べて、喉が～する。

いがいが (エゴッタイ, エガラッポイ, カラッポイ)

○この部屋は空気が悪い。喉が～する。
ぜえぜえ ガラガラ、ビリビリ
○息が苦しい。～いっている。
ひゅうひゅう 該当語なし。
○息が苦しい。～いっている。

IV 胸体の感覺

4-1. 肩

こりこり チクチク，シクシク
○肩が凝って～する。

4-2. 胸

どきどき ドキドキ，ドッキンドッキンくより強。>
○ああ恐ろしかった。まだ胸が～する。
どきんどきん ドキドキ，ドッキンドッキンくより強。>
○ああ恐ろしかった。まだ胸が～する。
どっこんどっこん ドキドキ，ドッキンドッキンくより強。>
○ああ恐ろしかった。まだ胸が～する。

とくんとくん 該当語なし。

○ああ恐ろしかった。まだ胸が～する。

とっくんとっくん 該当語なし。

○ああ恐ろしかった。まだ胸が～する。

きゅっと キュート、(イタク，チャブサレソーダくつぶされそうだ。>)

○悲しくて悲しくて胸が～としめつけられる。

むかむか ムカムカ，(ムカツク)

○悪いものを食べたようで、胸が～する。

4-3. 腹

(空腹)

ぐうぐう グーグー
○お腹がすいて～いう。
きゅるきゅる 該当語なし。
○お腹がすいて～いう。

(満腹)

たぶたぶ ガラガラ，ゴロゴロ，グズグズ；タブタブ
○麦茶を飲み過ぎてお腹が～する。
ちゃぼちゃぼ 該当語なし。
○麦茶を飲み過ぎてお腹が～する。
ちゃぶちゃぶ チャブチャブ
○麦茶を飲み過ぎてお腹が～する。

ばんばん パンパン

○食べ過ぎた。腹が～だ。

(腹下し)

ごろごろ シクシク，ビリビリ，(グゲンダ)
○何か変なものを食べたようだ。腹が～する。
ぐるぐる 該当語なし。
○何か変なものを食べたようだ。腹が～する。

びーびー シクシク、(下って出る様子には、ビービー, ビリビリ, ビリビリ)
○下痢気味だ。腹が～する。

4-4. 胃

しづしづ シクシク

○困ったことが多くて(ストレスがたまって)、胃が～痛む。

じくじく 該当語なし。

○困ったことが多くて(ストレスがたまって)、胃が～痛む。

きりきり キリキリ

○困ったことが多くて(ストレスがたまって)、胃が～痛む。

4-5. 尻

むずむず モジモジ

○居心地が悪い。尻が～する。

もぞもぞ 該当語なし。

○居心地が悪い。尻が～する。

V 手足の感覚

(手)

ぶるぶる ブルブル, ブルンブルン<より強。>, ピクピク

○手が～震えて、箸がつかめない。

(足)

がくがく ガクガク

○歩きすぎて、足が～する。

(その他)

ぬるぬる ヌルヌル

○気持ちが悪い。～したものが手(足)にあたった。

ぬらっ(と) ヌラット

○気持ちが悪い。～したものが手(足)にあたった。

VI 関節(骨)の感覚

ごきごき ガキガキ, (オモクリシイ)

○寝違えて首が～する。

ぐきぐき 該当語なし。

○寝違えて首が～する。

ばきばき 該当語なし。

○そんなに曲げると、骨が～(と)折れそうだ。

ぼきぼき ポキポキ, ポッキンポッキン

○そんなに曲げると、骨が～(と)折れそうだ。

VII その他

1. 頭

がんがん ガンガン

○頭が割れるように～する。

ぼーっと ボーット

○起きたばかりで、頭が～している。

ぼーっと ボーット

○立ちくらみして頭が～なった。

かっか カッカ(ト), ポッポ(ト)

○怒りや苛立ちで、頭が～する。

2. こめかみ

すきすき ズキズキ, ズッキンズッキン

○こめかみが痛くて～する。

3. 目

ちかちか チカチカ

○字を見すぎて目が～する。

ちらちら チラチラ

○老眼になって、近いところを見ると、目が～する。

ひくひく ピクピク<主。>, ヒクヒク

○目が繋れんして～する。

4. 耳

きーん キーン

○トンネルの中で、耳が～としてしまった。

5. 喉

ざらざら ザラザラ

○風邪をひいて喉が～する。

6. 背筋

ぞくぞく ゾクゾク, ヒヤヒヤ

○寒さで背筋が～する。

7. 皮膚

ちくちく チクチク

○体に毛が入って～する。

8. 脈拍

どきどき ドキドキ, ドッキンドッキン<大きく脈打つ。>

○脈が～する。

9. 体

ほかほか ホカホカ, ボカボカ

○お風呂に入って体が～した。

くたくた クタクタ, クタンクタン, テレンコテレンコ, デレデレ

○体が～している（充実感無くだるい感じ）。

しゃきっと シャキット

○体が～する（充実感・緊張感のある感じ）。

しゃっきり シャッキリ, ミッチリ

○体が～する（<病気が治って>丈夫で充実感・緊張感のある感じ）

まとめ

1. 強い表現への原理

- a. ドキドキ→ドキンドキン（撥音添加）→ドッキンドッキン（促音添加）
b. ホカホカ→ボカボカ（半濁音化）

2. 2回繰り返し型の隆盛。 主に2拍語基、他3～4拍語基。

3. 身体感覚を表わす語彙分野にあっては、オノマトペによらねば表現できないものが極めて多い。それに代わるものとして、動詞・形容詞などがある。が、その種類・量は極めて少ない。

(おおはしかつお 新潟大学教育学部)